

平成 18 年 7 月 26 日

各 位

会 社 名 クリナップ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 井上 強一  
(コード番号 7955 東証第一部)  
問合せ先 経 理 部 長 田中 仁  
(TEL. 03-3894-4771)

### 中間業績予想の修正に関するお知らせ

第 1 四半期の業績の動向等を踏まえ、平成 18 年 5 月 10 日の決算発表時に公表いたしました平成 19 年 3 月期（自平成 18 年 4 月 1 日至平成 19 年 3 月 31 日）の中間業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

なお、平成 19 年 3 月期（自平成 18 年 4 月 1 日至平成 19 年 3 月 31 日）の通期業績予想につきましては、第 2 四半期の推移を判断の上、追って公表いたします。

### 記

#### 1. 平成 19 年 3 月期中間連結業績予想数値の修正（自平成 18 年 4 月 1 日至平成 18 年 9 月 30 日）

(単位：百万円)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想	61,500	2,350	1,200
今 回 修 正 予 想	57,700	1,100	450
増 減 額	△3,800	△1,250	△750
増 減 率 (%)	△6.2	△53.2	△62.5
前 期 実 績 (平成 18 年 3 月期中間)	59,510	2,571	1,241

2. 平成 19 年 3 月期中間個別業績予想数値の修正（自平成 18 年 4 月 1 日至平成 18 年 9 月 30 日）

（単位：百万円）

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想	60,000	2,180	1,180
今 回 修 正 予 想	56,200	1,000	450
増 減 額	△3,800	△1,180	△730
増 減 率 (%)	△6.3	△54.1	△61.9
前 期 実 績 (平成 18 年 3 月期中間)	58,110	2,580	1,387

3. 修正の理由

当中間期の見通しにつきましては、景気は堅調に回復傾向を示しながら推移するものと予想されます。しかしながら、住宅設備機器業界におきましては、昨年低迷した持家の新設住宅着工にも緩やかな回復が見込まれますが、住宅設備機器需要の顕在化までには時間を要すること、リフォーム需要も計画先送りから需要顕在化への動きはあるものの、住宅資材全般の価格上昇が予測される環境下、住宅設備機器の質的な需要回復までにはいたらず、前期以来の普及品一極伸長傾向が一層顕著となり、市場競争はさらに激化すると思われまます。

こうした状況下で当社は、平成 18 年 2 月にデザインを一新した、主力のステンキャビシステムキッチン「S. S.」およびフロアコンテナ・システムキッチン「クリンレディ」について、最大の特徴である「スーパーサイレントeーシンク」を「美・サイレントシンク」と呼称変更し、一層の市場浸透を図るとともに、システムバスルーム「アクリア」および「Lーバス」の積極的な販売活動を推進してまいりますが、住宅設備機器の質的な需要回復までには、まだ慎重な見極めが必要な状況と判断いたします。

以上により、中間期の連結および個別業績見通しにつきましては、平成 18 年 5 月 10 日発表の業績予想を下方修正させていただきます。

以 上